

令和3年度 学校経営の概要（グランドデザイン）

東串良町立東串良中学校

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
県・地区の重点施策
町教委の重点施策
・一事徹底事項

学校教育目標 (小中学校共通)	自主的・創造的に学び、豊かな心もち、心身ともに健康で 21世紀をたくましく生きる、個性豊かな生徒の育成
校訓	自覚 規律 健康
ひっくら魂	常に希望に燃え 自分から進んで本気で考え 他の人々と助け合い励ましあって 全力を尽くして最後まで成し遂げる

学校の実態
生徒の実態
地域の実態
保護者の願い
地域の期待
教職員の願い
時代背景
社会の要請

めざす学校像

- ・ 学ぶことの楽しさ、成就感を味わう学校 《学業指導》
- ・ ちりのない、美しく整った学校 《環境教育》
- ・ やる気に満ち、活力ある明るく礼儀正しい学校 《情操教育》
- ・ 個が生かされ、みんな仲良く生活する学校 《生徒指導》
- ・ 自治力があり、進んで実践する生徒に満ちた学校 《特別活動》
- ・ 家庭・地域との連携がとれている学校 《開かれた学校》

めざす生徒像

自覚

「自覚をもって精一杯学習に取り組む生徒」

規律

「規律を重んじ、協力して生活向上に努める生徒」

「心豊かで、思いやりがあり、礼儀正しい生徒」

健康

「心身ともに健康で、たくましい生徒」

「奉仕の心に富み、勤労を尊ぶ生徒」

めざす教師像

- ・ 生徒理解を深め、相互理解を図り、生徒と共に歩む教師
- ・ 創造性豊かな教育実践をもとに、生徒自ら学ぶ力をつけさせる教師
- ・ 教育公務員としての使命感に徹し、保護者や地域住民から信頼される教師
- ・ 常に研修に努め、連帯・協調して学校運営に当たる教師

ひっくらスタイルの確立

〔学習の基本〕

- 「授業の心得5か条」の指導の徹底
- 積極的に「発表」
 - 「聞く」「書く」「考える」の区別
 - 始めと終わりの挨拶
 - 1分前着席，30秒前黙想 など

〔生活の基本〕

- 「ひっくらプライド123」の定着
- あいさつと返事
(感謝の心をもって)
 - 全力無言清掃10分
 - 開始30秒前の静寂

〔心の基本〕

- 「思いを形にする活動」の啓発・推進
- ボランティア活動の推進 (思いを外へ)
 - 身の回りの整理整頓 (思いを内へ)
- 「自分の命は自分で守る」
- 危険予知能力と危険回避能力

共通実践・徹底

重点目標

学習指導の充実【知】

- 1 「授業の心得5か条」や授業における発表話型など、全教科において揃えるためにきまりを明文化する。
- 2 学習支援員の活用の仕方や管理職等による複数配置での指導体制及び校内通級による個別指導など、できる範囲での支援体制を工夫・改善する。
- 3 「主体的・対話的で深い学び」の授業実践による思考力・判断力・表現力を育成するために、新学習指導要領の趣旨に沿った授業改善に努める。

心豊かな生徒の育成【徳】

- 1 定刻の起床・就寝や挨拶・返事などの基本的なことを徹底しながら、時刻・時間についての意識を高める指導を行う。
- 2 生徒会や部活動など、生徒が自主的に取り組める環境を整え、リーダーの育成に努める。
- 3 不登校・不登校傾向生徒への支援の在り方について管理職を中心としたチームとして情報共有し、適切な対応ができる体制づくりに努める。

健康・気力・体力の充実【体】

- 1 コロナ禍における新しい生活様式を徹底させ、感染症予防対策に努める。
- 2 学業や学校行事、部活動など自分で決めたことを最後までやり遂げる強い意志の育成を図る。
- 3 「食」や「メディア」と健康との関わりについての啓発に努め、主体的に健康について考えさせる。

家庭・地域との連携【連携】

- 1 小中一貫連携校としての9か年を見通した統一感のある発達段階に応じた生活習慣や学習習慣を確立させる。
- 2 「学習の手引き」の内容を保護者へも知らせ、家庭での取組に協力をもらい、共に育てる意識をもたせる。
- 3 教育委員会社会教育課と連携を図り、「地域学校共同活動」についての基盤をつくる。

分析・改善策

【本校の課題】 基本的生活習慣・家庭学習の習慣の確立，小中一貫教育の推進，リーダー性の育成，メディアコントロール力